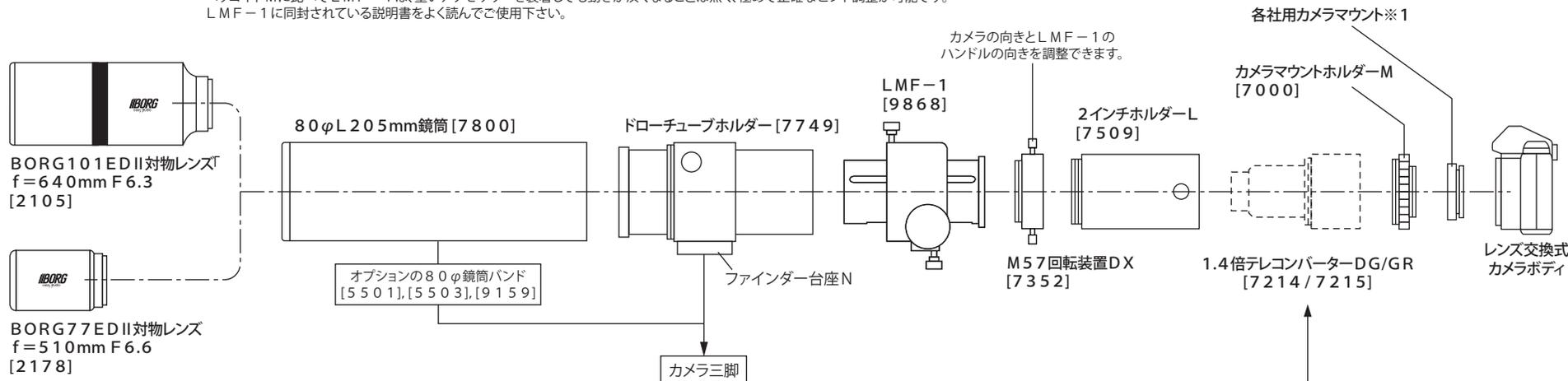




デジボーグ77EDⅡ, 101EDⅡ LMF-1組み合わせ例

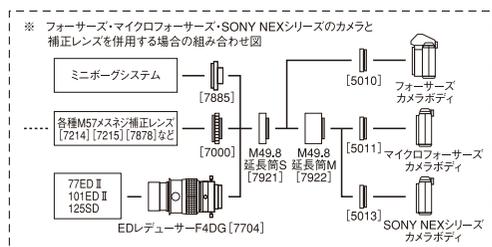
●77EDⅡや101EDⅡで、ヘリコイドM[7835]の代わりにLMF-1[9868]を使用する場合の組み合わせ例です。
ヘリコイドMに比べてLMF-1は、重いアクセサリを装着しても動きが渋くなることは無く、極めて正確なピント調整が可能です。
LMF-1に同封されている説明書をよく読んでご使用下さい。



●ピントの合わせ方

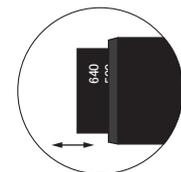
- 1) ドローチューブホルダー[7749]のロックネジを緩めます。
- 2) ドローチューブを前後に動かしてピントを調節します。
- 3) ピントがほぼ合ったら、ロックネジを軽く締めます。
(強く締めるとねじ山が破損する恐れがありますのでご注意ください)
- 4) LMF-1[9868]を使用してピントを調整します。

※1フォーサーズ・マイクロフォーサーズ・SONY NEXのカメラを使用する際は延長筒が必要となります。詳しくは、下の組み合わせ図をご覧ください。



1.4倍テレコンバーターDG[7214]を使用する場合

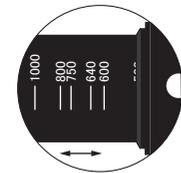
- 77EDⅡの場合
7214未使用時 510mm F6.6
7214 使用時 714mm F9.3
- 101EDⅡの場合
7214未使用時 640mm F6.3
7214 使用時 896mm F8.9



1.4倍テレコンバーターDGを使用する場合は、レンズの焦点距離に応じてチューブを前後させます。77EDⅡの場合はf=510なので、左図のように500の目盛り線が丁度隠れるくらいの位置へチューブを合わせます。101EDⅡの場合はチューブを最も縮めた状態にします。

1.4倍テレコンバーターGR[7215]を使用する場合

焦点距離・F値は
テレコンバーターDGと同様



1.4倍テレコンバーターGRは、テレコンバーターDGと目盛りが異なります。77EDⅡの場合は、左図のように500の文字が隠れるくらいの位置へチューブを合わせます。101EDⅡの場合はf=640なので、640の目盛り線に合わせます。

※1.4倍テレコンバーターGR[7215]は外径の寸法上、M57回転装置DXの直後には接続できません。